

豊かな自然と 住みよいまちづくりを目指して



水辺で憩いのひととき(根木名川)

市では、平成12年に「成田市環境基本計画」を策定し、市内の環境保全や望ましい環境の創造などに取り組んできました。このたび計画の一部が見直されました。この機会に計画の内容をもう一度紹介します。

「成田市環境基本計画」は、わたしたちを取り巻く環境を保全し、望ましい環境を創り出すために市民・事業者・市が取り組むべき指針を定めたものです。

平成20～29年の10年間に期間を区切り、市が目指す環境のあり方(将来の環境像)やそれを実現するための施策を定めるとともに、市民・事業者・市のそれぞれに環境配慮指針(ガイドライン)を示しています。

計画を一部見直し

計画はめまぐるしく変化する環境動向を考慮し、必要に応じて見直しされます。

今回、平成26年3月に計画の進捗状況などを考慮して中間見直しが行われました。

市が目指す将来の環境像

計画の根幹をなすのは本市が目指す将来の環境像で、それは、「自然と文化を育み地球にやさしい環境都市成田」です。

これは、次の3つの考え方を示しています。

①豊かな自然と文化を、「もったいない」という気持ちや「思いやりの心」を持って大切に育み、次の世代へと伝える

②子どもから高齢者まで、毎日快適に安全・安心に暮らせる生活

環境を整える

③国際空港を擁する都市として、地球温暖化などの環境問題に積極的に取り組み、世界に発信できるような環境都市成田を目指す

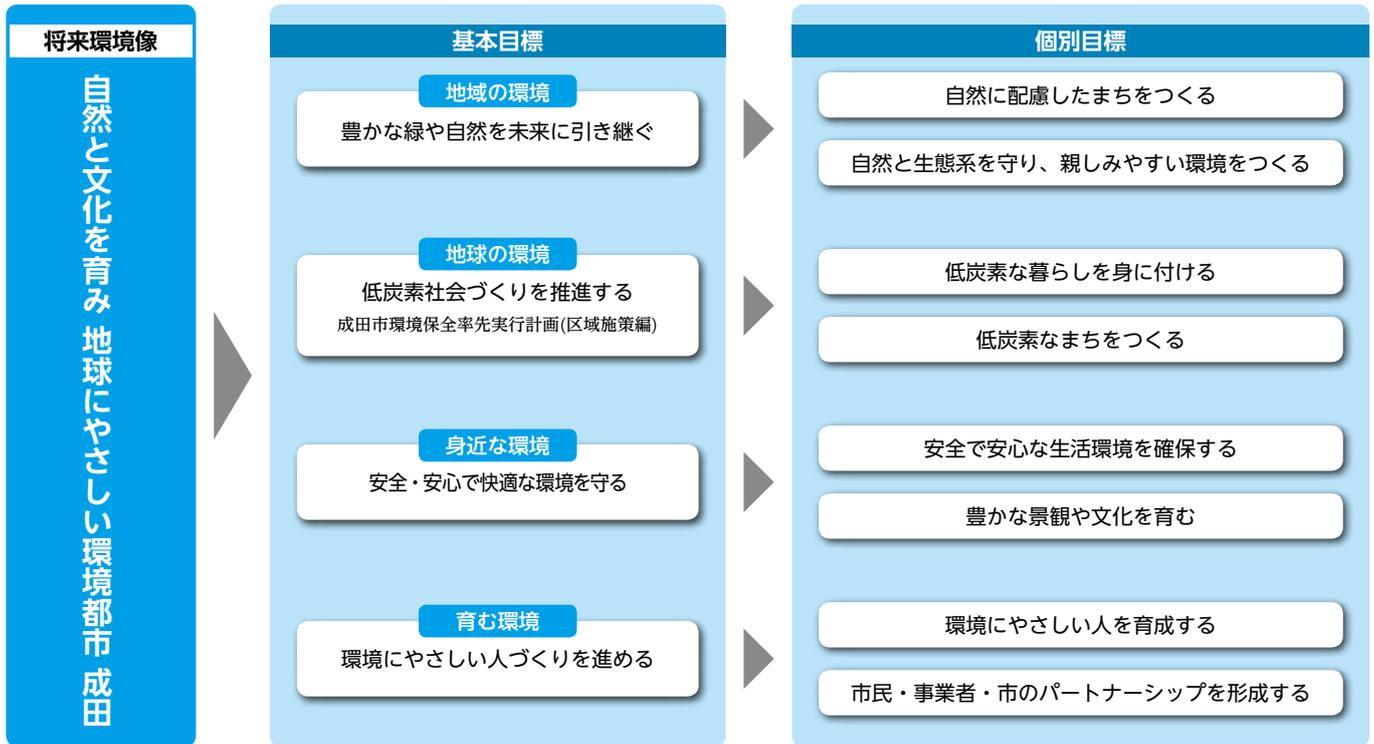
4つの基本目標

本市が目指す将来の環境像を実現するために、計画では4つの基本目標を定め、それぞれに個別目標を立てて施策を展開してきました。

見直しを行うに当たり、これまでの施策の実施状況の点検・評価を行うとともに、社会経済状況、市民の意向、成田市総合基本計画・国・県の関連計画の変更点などを踏まえ、基本目標や個別目標を変更しました(左図)。

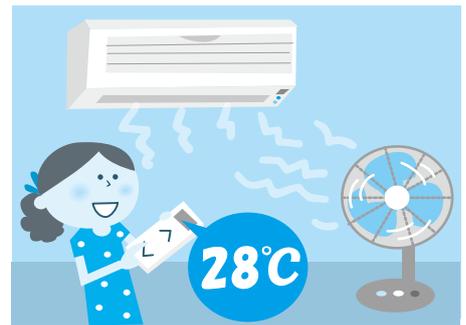
また、今回の見直しでは、地球温暖化防止に向けた温室効果ガス

市が目指す将来の環境像と基本目標の体系図

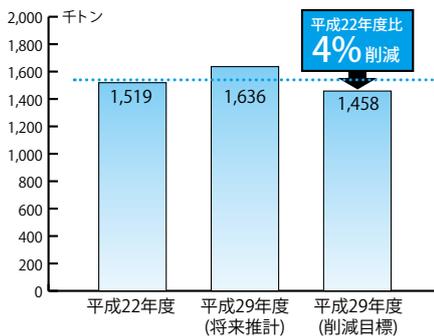


市民に期待される取り組みの例

- ・地域の農作物を優先的に購入し、地産地消に協力しましょう
- ・野生の動物をむやみに捕獲しないようにしましょう
- ・自然観察会や動植物生息調査などに積極的に参加しましょう
- ・空調の設定温度は、適正温度(夏28℃、冬20℃を目安)にしましょう
- ・冷蔵庫の中に物を詰め込み過ぎないようにしましょう
- ・ごみはきちんと分別し、減量と再資源化に努めましょう
- ・環境にやさしい運転(エコドライブ)をしましょう
- ・太陽光発電設備や太陽熱温水器などを設置し、再生可能エネルギーを積極的に活用しましょう



CO₂ 排出量の推移と削減目標



成田市全体のCO₂ 排出量は、環境省が公表している「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定マニュアル(第1版)簡易版」に基づき算定されたものです。なお、簡易な手法により算定しているため、推計結果はあくまでも参考値です。

の削減など、新たな目標も設定されました。

CO₂ 排出量は増加の一途

本市の平成22年度の二酸化炭素(CO₂)*₁ 排出量は15万9,000トンでした。

市の人口が今後も増加すると想定し、このまま追加的な削減対策を実施しない場合に推計される平成29年度のCO₂ 排出量は163万6,000トンとなり、平成22年度と比較して8%の増加となります。

新たに削減目標を設定

こうした現状を踏まえ、市民・事業者・市が一体となってCO₂ を削減するための目標や取り組み方針を新たに設定しました。

目標は平成29年度までにCO₂ 排出量を平成22年度と比較して

- 4%削減する
- 取り組み方針**
- 省エネルギー行動への転換
 - 3R運動の推進
 - 再生可能エネルギーの普及促進
 - 環境に配慮した交通環境の整備
 - 廃棄物の適正処理を推進
- *1 国・県における温室効果ガス排出量の9割以上がCO₂であることから、本計画で対象とする温室効果ガスはCO₂とします
- *2 循環型社会を形成していくためのキーワードで「リデュース(Reduce)廃棄物の発生抑制」、「リユース(Reuse)再利用」、「リサイクル(Recycle)再生利用」の頭文字をとったもの
- ※くわしくは環境計画課 ☎20・1533へ。